

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術症例の検討
	研究目的	横行結腸がんは、結腸間膜が短いため他の部位の大腸がんに比し中間リンパ節、主リンパ節への転移頻度が高いとされている。そのため根治切除の際に、確実なリンパ節郭清（D3 郭清）が必要とされる。今回、当院で根治切除を行った横行結腸癌症例を対象として手術成績を調査し、当院での治療成績を検討する。
	研究対象者	横行結腸癌と診断され、2017年4月～2019年4月までに当院で根治切除を実施した症例
	研究期間	西暦 2019年10月2日～西暦 2020年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(        ) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	消化器外科 菅野伸洋
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科大腸
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし